

一般社団法人大阪電業協会 第 50 回安全大会 祝辞

令和 4 年 6 月 30 日
大阪労働局

皆様こんにちは。

只今御紹介いただきました大阪労働局安全課長の小野でございます。

本日は、50 回記念となる「一般社団法人大阪電業協会 安全大会」が盛大に開催されましたこと、心からお慶び申し上げます。

前田会長をはじめ皆様方には、日頃から労働行政の推進、とりわけ労働災害防止や健康確保対策に格別の御協力をいただき、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

また、本日、栄えある表彰を受けられます皆様、誠におめでとうございます。

日頃の労働災害防止への御努力が実を結ばれての受賞に深く敬意を表しますとともに、今後さらなるご活躍を期待申し上げます。

さて、大阪の現下の雇用情勢は、昨年度から求人を持ち直しの動きがみられ、底堅く推移する中、保安、建設等では高い有効求人倍率となっており、職業によっては人手不足が生じています。2025 年に万国博覧会の開催が予定される等、今後、大阪において経済活動が一層活発化することが見込まれます。

経済活動がますます活性化するなか人手不足が加速化すると、限りある人員の中でのマンパワーのみに頼ることとなれば、労働災害発生のリスクが高まります。長時間労働が続けば、過重労働による脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調へと発展していくおそれがあり、ひいては、ますます人材確保が困難となることも懸念されます。

電設業に人が集い、魅力的であるためには「安全で安心して働ける職場環境の整備」が重要であり、労働災害の防止はもちろんですが、長時間労働の抑制や週休 2 日制の導入等の働き方改革に積極的に取り組んで行かなければなりません。

2024 年 4 月からは猶予されていた時間外労働の上限規制が適用されますが、そのための準備が必要です。皆様方が、働き方改革の先導役として、お力を存分に発揮していただくことを期待しております。

さて、令和 3 年の大阪府内の全産業の労働災害の発生状況ですが、新型コロナウイルス感染症によるり患を除き死者数は 52 人となり、令和 2 年と比べて 6 人増加しました。建設業においては 15 人と、令和 2 年と比べると 3 人の増加となり、またその約半分が墜落転落災害でした。

全産業における休業 4 日以上死傷者数につきましても新型コロナウイルス感染症によるり患を除き、8,821 人と、こちらも令和 2 年と比べて 4.8%の増加となりました。

本年においても 6 月 20 日現在、建設業の死亡災害は 4 人と前年同期に比べ 1 人増加しており、4 人中 3 人が墜落転落によるものであることから 6 月から 8 月までを「STOP!! 死亡災害 2022」活動として、建設現場に対し集中的に現場指導を実施し、墜落・転落災害の防止の徹底を図ります。

また、12 月は工事が輻輳することによる災害発生が懸念されることから、近畿各労働局と連携し、一斉に現場指導を実施します。

さらに、1 月から 3 月期にも「冬季死亡災害防止強化期間」を設定し、墜落災害及び交通労働災害の防止を図ることとしています。

一方で本年の建設業の休業 4 以上の死傷者は 5 月末現在、新型コロナウイルス感染症によるり患を除き、182 人と前年同期 215 人に比べ 15.3%の減少となっております。皆様方のご努力に感謝申し上げますとともに、このまま減少を続けていけるよう、さらなる労働災害防止への取り組みをお願い申し上げます。

大阪労働局では第13次労働災害防止推進計画の目標を達成するため、「リスク“ゼロ”大阪推進運動」を展開しています。

新構造規格に適合した「墜落制止用器具」の使用、二丁掛けフルハーネスの使用の普及促進を図ることを目的とする「命綱GO活動」を実施しています。引き続き皆様方の御協力と積極的な労働災害防止の取組をお願いします。

また、これからの熱中症予防も重要です。大阪府内での昨年の熱中症による死亡者数は2人で、休業4日以上死傷者数は27人となっています。

5月1日から9月30日までを「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」として啓発に取り組んでいます。死亡者ゼロを目指し、異常を認めたときはすぐに救急車を呼ぶ、「体調が悪いです」と上司に伝えやすい職場環境の実現に向け、周知啓発活動を展開してまいります。

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、育児や介護との両立など働く人のニーズの多様化が進む状況のなか、誰もが働きやすい環境を整備することが、働く人及び社会全体にとっても必要不可欠です。

さて、本年も7月1日から同月7日までの期間において、「全国安全週間」が実施されます。スローガンは、

『安全は 急がず 焦らず 怠らず』
です。

本日の安全大会や全国安全週間を通じて、それぞれの職場において労働災害防止の重要性を改めて御確認いただき、安心して働ける職場環境づくりに向け、更に前進されることを期待する次第であります。

結びにあたりまして、大阪電業協会の益々の御発展と、本日御参加の皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。